

社団法人調布青年会議所 201110月号

あすの調布



がんばろう日本

理事長の一言

秋らしく清々しい気持ちの良い季節となりました。今年度もいよいよ終盤に向けて動き始めています。

さて、先日の臨時総会にて、2012年度の理事長予定者・理事役員予定者、そして公益法人制度改革に向けての組織の方向性として「公益社団法人格取得」が決まりました。当年度をお預かりする理事長として、無事に2012年度のスタートに向けての準備が整ったことに対し安堵を感じています。それと共に、公益法人制度改革対応について、その方向性を正副理事長や理事会構成メンバーのみで結論づけるのではなく、メンバー一人ひとりが組織の根幹を真摯に見つめ直すステップを踏んだ上で、総会の場にて導き出した事に対し、「組織としての未来に向けての力強さ」そして「責任」を感じています。

青年会議所の目標は、「明るい豊かな社会の創造であり、その新しい社会をリードするにふさわしい人を多く作ること」です。私たち自身が情熱を注ぎ込みながら行っている運動は、社会や社会に営む人のためであるのと同時に、その運動の過程を通して、私たち自身をよりよく磨き、価値を付加し次代の担い手として成長し社会に還元していくことに繋がっていきます。私たち自身がその価値をより高め成長していくためには、私たちの運動が社会の中でより一層の価値を持ち続けることが必要であります。そして、「志を同じうする者」である私たちメンバー一人ひとりが、組織に対しての魅力・価値と、私たちにしかできない「まちづくり」を行っている運動体としての誇りを感じながら運動を続けていくことが大切だと思っています。

皆さん、仕事や家庭でもないのに、「何でこんなことするの?」「何でつらいことわざわざする必要はあるの?」「何でこんなにこの人は真剣に取り組むの?」なんて感じたことはありませんか? 前文にて堅苦しいことを色々と記載しましたが、私たちの運動を支えているものは、言うまでもなくメンバー一人ひとりの「友情と絆」です。今年度も終盤に向けてメンバー一人ひとりが輝きを増し、魅力的な個性を発揮してきています。皆さん、今一度、ご自身の周りにいるメンバーと正面から関わって見ませんか。新たな魅力や楽しさ、ワクワク感を感じるとともに、あなた自身が魅力を感じさせる存在にきつとなっているはずですよ。

皆さんの輝きが増し続けているのとは裏腹に、私の理事長スピーチは緊張感を日々増し続けてきております。(なぜでしょうか?) 本年度も残り2ヶ月、私自身も緊張の糸をゆるめずに、皆さんと正面から向き合っています。

引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

例会報告

8 月 例 会

『これからのまち、
そして人とのつながりを考える』
～未来の青年経済人として光り輝くために～



堀 委員長

和☆指導力委員会

「地域の青年経済人として光り輝く為の事業」として講演会を開催しました。青年経済人としてのスキル向上の為、どのようなアプローチが今最も良いか？委員会内で方針決定に難航しましたが、コミュニティデザイナーとして非常に注目されている山崎亮氏に講演依頼を快諾いただき、素晴らしい講演をいただく事ができました。

山崎氏が行っているコミュニティデザインとは、「人と人、人と地域が集い、コミュニケーションをする場所や空間」のデザインや仕組みづくりです。氏曰く、この日本は課題先進国であり、世界中で注目されている国であるそうです。少子高齢化を始め、昨日の原発問題、年金問題、国家財政問題など・・・日本がどのように課題を解決していくのか？世界での注目度は非常に高いようです。中でも一番深刻な課題の一つが「少子高齢化問題」で、人が減っていつてしまつてはいいままでのビジネスモデルが成り立たなくなつてしまうのは必然です。まだ少子高齢化の波が押し寄せていないこの調布地域には、他の地域に比べ、まだまだ危機感が無いように感じられます。会社も人も元気な今こそ、次の時代に備えるまたと無い機会であり、チャンスである、と氏は唱えます。

日本の人口が減っていく中で、これから求められるビジネススタイルとは、ただ利益を得るだけではなく、その商売が地域の活性化の一助となる事。昔から言われ続けている「売り手よし、買い手よし、世間よし」の『三方よし』の思想がこれから最も必要とされるのである。そして今、青年経済人に求められているのは「課題発見能力」と「問題解決能力」である、とお話をいただきました。

山崎氏にもご協力いただき、ツイッターやフェイスブックでの広報を行い、満席状態の非常に熱気の高まった講演会となりました。一般参加の方は特に学生の方が多く、メモを取りながら、真剣に受講いただいている姿が非常に印象的でした。退場の際には、「JCICってこんな素晴らしいイベントやってるんですね」など、とても嬉しいお声掛けもいただき、和☆指導力メンバー全員が満足のいく、非常に充実した事業開催となりました。お忙しい中参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



9 月 例 会

『公益制度法人改革を考える』

9月5日(月)調布市文化会館たづくり大会議場において、9月例会を開催いたしました。

今回は、財団法人富士福祉事業団理事長であり東京青年会議所シニアクラブ世話人代表の枝見太郎氏、社団法人調布青年会議所第29代理事長の金子日出澄先輩、そして原島秀一理事長、3人のパネリストによるパネルディスカッション方式で、公益法人制度改革の意味、青年会議所運動のありかた、(社)調布青年会議所の方向性について考えることを目的におこなわれました。

当日は現役メンバーのほかOB、オプザーバー、一般の方もご参加いただき、約100名が三者三様の立場、視点からの発言に熱心に耳を傾けていました。

法人格は単なる看板に過ぎないという見方もあるでしょうが、そこに魂を入れるかどうかはその看板のもとに集う私たちにしかかかっています。そしてその看板を見せかけやまやかしては自己を律する上での矜持とするために、公益法人制度改革は自分たちの足元を見直すいい機会となったのではないのでしょうか。

一市民として、また青年会議所の一員としてこれからのまちづくりにはどのような姿勢で関わっていくべきなのか、また関わっていききたいのか、今回のパネルディスカッションで受け取ったメッセージを心に留めながら前進していきたいと思えます。

開催にあたりお力添えいただきましたみなさま、ご参加いただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



嵐 委員長

公益移行準備委員会



10月第一例会

『臨時総会』

10月6日木曜日、10月第1例会として臨時総会を調布市文化会館たづくり10階 1002号習室にて開催を致しました。

例年とは異なる「公益社団法人格取得」に関する議案があり、緊張感のある総会でありました。重要な議案を採決する総会の議長を渡邊直前理事長に務めて頂き、活発な議論を経て次年度理事長予定者・理事役員予定者の承認、そして公益社団法人各取得に伴う二つ議案の承認が無事可決されました。

総会後の時間では、次年度理事役員の紹介、めでたくご結婚する3名のメンバーからのスピーチなど、明るい報告を共有することが出来ました。

原島会長をはじめとするシニアクラブの皆様、出席頂きました現役メンバーの皆様ありがとうございました。

本年度最重要の総会を無事に終えることができましたこと、委員会メンバー一堂改めて感謝申し上げます。



総務青赤委員会

山田委員長

「第60回全国会員大会」

名古屋大会

9月29日～10月2日まで「愛知る地」愛知県

は名古屋市内にて開催された全国会員大会名古屋大会へ、副専務職の重要な任務である引率係りとしてLOMメンバー18名と共に参りました。

全国の会員が集まる大会は、1月の京都会議に続いて2度目。相変わらず名古屋駅を降りた瞬間、いや名古屋へ向かう新幹線の中から右を見ても左をみてもJCBバッジを身に付けた同志たちで溢れかえっている。

土曜日のロムナイト、その後の2次会の会場となった名古屋きつての歓楽街である栄エリアにはJCB専用無料案内所なるものが数か所出ており、街はJCBカラー一色。2次会のあと入った居酒屋では、たまたま隣に居合わせた宮崎青年会議所の理事長以下数名と意気投合。宮崎の親LOMである東京JCB奥山理事長も加わり美味しい酒を酌み交わす事が出来たのも全国大会ならではの出来ごとなのであろう。

日曜日は名古屋ドームにて大会式典と卒業式。我らが原島理事長、天沼監事、安藤副理事長、深町さんがめでたくこの大会にて卒業を迎えられました。名古屋城や金屏風を写しだす派手な映像を使った演出に皆が驚く。さすが全国大会。ちなみに今年のサプライズゲストは石井竜也さん(米米クラブ)。「浪漫飛行」や「君がいるだけで」、発売前の震災復興ソングで卒業に花をそえた。その後、森本レオさんの朗読、井川次年度会頭の挨拶があり無事終了。スケール感溢れる演出と、街を歩くだけで感じられるJCBのパワー。是非JCに入会したのなら一度は経験しましょう！

来年は北九州ですよ！



清水副専務



東京ブロック出向報告

ALL東京確立委員会
副委員長 加藤百恵

10月24日(月)東京ガーデンパレスにて「さよならブロック並びに卒業式」が開催されました。私は実行委員長を仰せつかりました。

第一部では東京ブロックの一年間を振り返り、第二部では卒業式として24LOMの卒業生241名(原島理事長の名前を入れてなくてごめんない。)を無事に送り出す事ができました。

アワードでは調布の「まちコン」が最優秀事業賞を頂きました。実は賞状を皆より先に見た私は驚きと喜びで早く伝えたくて仕方ありませんでした！そして、LOMではなかなか見る事のできない、じったんの司会姿はとても貴重でした！

出向を薦めてくれた原島理事長、貴重な経験をさせて頂きました！

わだつち・じったん・はち3人のおかげで賀詞もさよならも無事に終える事ができました。無茶振りばかりでごめんね。一年間本当にありがとう！！



サバゲー野郎！！ 『活動報告』



今、芸能人や高感度な方々の中でここ数年間流行の兆しをみせているもの。

それが「サバイバルゲーム」。調布LOM内でも超高感度な堀委員長、嵐委員長始め多くのメンバーが夢中になっているこのゲームを簡単に紹介しよう。

ルールは簡単。「やるかやられるか」。そう、頼れるのは自分の腕と度胸、そしてチームワーク。

電動の銃とBB弾、ゴーグルをはめれば準備完了。

あとは森や沼、基地やホテル、市街地が配備されたフィールドへ。

相手の陣地のポタンを押すか、敵を全滅させれば戦闘終了。

なんととってもサバゲーの醍醐味といえは「緊張感」と「爽快感」！

いつ撃たれるかわからない状況下、敵に囲まれている仲間がいれば援護に向かい、生い茂る草を掻き分け数名で編隊を組んで敵陣を目指す。

特攻部隊からの銃弾の雨あられ、スナイパーからの数十メートル離れたところからの狙撃、戦略的に相手を待ち構えた頭脳犯。フィールド

上には予想もつかない状況が広がっている。

最初はジャージにレンタル銃だった仲間も今では全身迷彩に無線機、自前のカスタム銃での完全装備。

メンバーも最近ではシニアクラフや商工会青年部さんを含め30名程に膨れ上がり、サバゲー後の懇

親会も盛り上がり過ぎて参りました。

最近運動不足でお腹が気になり始めた方、痛いのが好きな方、人を痛めつけるのが好きな方(笑)

お気軽に連絡下さいませ。手取り足とりレクチャーさせて頂きます。

2011年度 サバゲーチーム調布鷹の手部隊長 清水



渡邊直前の

東北関東大震災災害支援

自分ができること

第二話



5月1日深夜に出発し、5月2日気仙沼の小泉

浜にて瓦礫撤去と炊き出しを行ないました。震災前は綺麗だったはずの小さな村も、瓦礫だらけでその瓦礫やガラスの破片を私たちは、無言になり集めていました。夕方からはそのボランティアセンターで焼きそば400人前とフランク400本、スープの炊き出しを致しました。焼きそばを作り始めて、ビックリ！フライ返しを忘れてしまい、大きいしゃもじを借り、私も今までで始めてしゃもじで焼きそばを作る羽目になってしまいました。しかも、その日は、物凄く強風でテントも飛ばされそうな位の暴風！その中、しゃもじで苦戦しながらやつと出来た1回目の焼きそばを入れ物に移そうとした瞬間に、風の悪戯でテントの雨水が私



と、焼きそばの上にドバー！一瞬間固まり、言葉

を失ってしまいました。日頃の行いの悪さをメンバーに言われ落ち込みながらの時間を過ごさせて頂きました。町民の方々やボランティアの方々には炊き出しを終了したのは夕方19時近くになり、その後、南三陸町へ移動し、志津川小学校にてむさし府中J.C、三鷹J.C、稲城J.Cと合流し、テントでの宿泊。寒い中、私の掛けていた毛布を新国さんと理事長が奪い、私は見事に次の日に風邪を引き、熱が出てしまいました。弱肉強食の世界では私は生きていけないことを十分知らされた日でした。

※小泉浜に来ていたボランティアの人達の車のナンバーが多摩ナンバーばかりで、しかも私たちのボランティアリーダーは偶然にも調布から来た市民の方でした。

5月3日は朝から石巻J.C支援物資集積地にて、支援物資の再仕分け（子供服の男女別、サイズ別に一袋ずつ仕訳、文房具、絵本など種類別に再仕分け）を行い寝不足の中、帰路に着きました。今回参加してくれたメンバーは、多くの事を学んだ事と思います。その学んだことを調布に落としとしてもらい、更なる個人の発展へ繋げていただきたいと思えます。

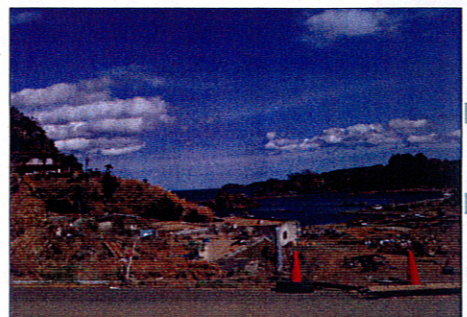
■参加者

- ・渡辺、天沼、安藤、新國、鳩山、瀧柳、渡部、中村先輩、原島 調布市役所渡部
- その他
- ・備品搬入手伝い・前村委員長、芝村さん、増田君、高橋委員長、梶原監事

- ・備品片付け手伝い・松永、和田
- ・食材協力・清水、富沢、後藤文

その後も様々な支援が行なわれ、現地での支援から福島のお産の支援や、子ども達への支援へと変わってきております。中でも、シニアの先輩方が立ち上げた、調布から！復興支援プロジェクト という

集まりで開催した、須賀川市のサッカーチーム須賀川FCの子ども達を調布に呼び、2泊3日の合宿を開催したのが一番の印象です。放射能の関係で、外でサッカーも出来ず、そして外で遊べない子ども達を呼び、調布の代表の子ども達とのサッカーの試合、そして原発問題以降は入れなかった、プールなど須賀川の子どものあの笑顔は忘れられない事業でしたが、ただ、現役メンバーの関わりが少ない現状に寂しい思いをしました。知らないとか、聞いてないとかそんな話を最近よく聞きます。自ら何かしようと考えているのであれば、情報はいくらでも入ってくるものです。若いメンバーにはもっともっと調布市内の事に目を向けてもらい、自ら動く人、一人のJAYCEEとしてみんなでやる運動ではなく個人としての活動をしてもらいたいと思います。復興はまだ始まったばかりです。日本人としてやれることを自ら考え行動していきましょう。



新入会員アンケート

質問アンケート内容

- 1、氏名
- 2、職業・会社名(仕事内容含む)
- 3、年齢
- 4、趣味
- 5、あだ名
- 6、好きな言葉
- 7、JCに入った経緯
- 8、今後JCでやりたいこと・やってみたい



A1 増田 健治
(ますだ けんじ)
A2 不動産業
有限会社増田商事
(不動産賃貸、管理、売買仲介)

A3 32歳
A4 マラソン、読書、外食
A5 特になし
A6 ①「自から反みて縮からずんば、掲寛博と謂えども、吾怖れざらんや。自から反みて縮くんば、千万人といえども、吾往かん」
②「40歳を過ぎた人間は 自分の顔に責任を持たなくてはならない」
③「実るほど頭を垂れる稲穂かな」
A7 以前から何度も誘われていて、仕事や家庭が落ち着いたため
A8 地域貢献

A1 横川 尚行
(よこかわ なおゆき)
A2 飲食業
株式会社ばさら厨房
(居酒屋和酒厨房ばさら調布店)
A3 35歳



A4 食べ歩き、日本酒、旅行
A5 よっかー
A6 全力全開、限界突破
A7 高橋裕二委員長に声をかけていただいて
A8 まちコン



A1 鈴木あゆみ
(すずき あゆみ)
A2 サービス業
PC-LINK株式会社
(精密機械の卸し)
A3 3X歳
A4 美味しいお食事とお酒を楽しむ
A5 あゆちゃん
A6 人生はしなやかに歌って
A7 主人が入っていて進められたので
A8 事務局のお掃除



A1 清岡 和彦
(きよおか かずひこ)
A2 公務員
議員秘書
(山花郁夫事務所)
A3 39歳
A4 ゴルフ、ドライブ 旅行
A5 小中学校は(きよ)と呼ばれてました
A6 一期一会
A7 市民討論会を見て
A8 たくさんの方に調布というまちに来て、見て、住んでよかったと思っただけのような活動をしたいですね。
以上でございます。よろしくお願ひします！

新婚さん

いらっしやーい!

今回のゲスト 芝村麻君

さわやかな秋空の大正寺で、親族をはじめ御世話人に見守られ、結婚式を挙げる事ができました。これも一重に皆さまのおかげと感謝しております。

2008年の9月、総会を欠席してまで参加したブータン旅行。まさかそこで、運命の人と出会うなんて、さすが幸せの国ブータン!

それから三年、東京と大阪を何度も行き来し、やっと、この良き日を迎えることができました。いつも遠くから私を支えてくれて、私が専務理事を受けるときも、嫌な顔一つせず、そっと背中を押してくれるような、そんな優しい彼です。

大阪生まれ、大阪育ちの彼が調布に来て、四ヶ月。まだまだ分からないことだらけの彼のために、料理の腕をあげる前に、ボケとツツコミを覚えようと思っっている、新妻「木村麻」です。
「木」ばっかりやんか!
これから調布で頑張っていく彼ともども宜しくお願ひいたします。

木村麻 (旧姓芝村)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
麻ちゃんおめでとうございます。

11月23日(祝)カフェバーンスにて
パーティーがありますので皆様
是非参加してください。



詳細は渡邊弘樹君まで。

小笠原長武の「俺に一言わせる」



昨年の今頃にも当時の総務委員会より入稿の依頼を頂き、「天候評論」なるお題で拙文を掲載させていただいたのに続き、今年もこういう機会を頂いたことは嬉しいことやら恥ずかしいことやら。とにかく前回回は冗漫かつ冗長、貴重な紙面のかなりの部分を占領してしまった反省もあるので今回は、簡潔にそして皆さんの多くに興味を持っていただけるような内容になるように努めたい。

青年会議所に入会して以来、会員としてその名に恥じぬよう極限まで会議をしなきゃいけないのだからその会場は当然事務局だけにとどまらず飲食店でも会議をすることが多くなる。会議の内容は実に多彩で、委員会が企画する例会や来年度の展望といった内容からゴルフの話やビールを飲みすぎて飛行機の中でおしっこを漏らしそうになった話とか、とにかくそういった多彩な内容である。

閑話休題、そんなこともあり昨年のある時、飲食店にはどの程度の頻度に行つて、誰とどんな店に行つてのかが気になり、手帳に記録し始めた。今回は昨年10月から今年9月までの1年間の記録を分析、得られたデータを細かく紐解いてみたい。

二人以上の人数で概ねビール2杯以上飲んだ日を「飲んだ」と定義し記録を集計してみた。



まず365日中、飲んだ日は182日、比率にして49.9%。ほぼ半分である。

ちなみにその182日中

88日は青年会議所絡みの方たちと飲んでいる。残りは大学の同期および研修医の同期が29日、小中高の同級生とは26日、歯科医師会絡みでは22日、その他は16日である。小中高と調布市外に通っていたこともあり近場に住む友人は少なく、フットワーク軽く飲みに出かけやすい調布となると必然的に青年会議所の方々と飲む機会のほうが多くなる。

また1ヶ月で一番飲む機会が多かった月が2010年の11月に記録した23日、最少が2011年8月の10日である。昨年は月平均20.0日を記録したのに対し今年には12.7回である。

昨年はいやしくもLOMでは理事を拝命しフードサービス部会においても要職を任せられた関係上「会議」する機会が多くなったことが大きく関係している。

一日に何軒もはしごする日もあり、飲んだ場所については累計日数より多く

り255軒であった。182日飲んで255軒だから飲む日は平均1.4軒はしごしている計算になる。

255軒のうち144軒が調布市内、114軒は調布市外で、市内率は56.4%になる。調布の144軒は累計なので実際は53店のお店にお邪魔させていただいている。

調布144軒に次ぐ場所は立川の17軒、新宿の15軒、渋谷12軒、登戸、中野の7軒と続く。東京以外でも飲むこともあり、その場所は名古屋、大阪、京都、有馬温泉など。海外だとジャカルタ、バンコク、プーケット、シンガポール、台北、ミラノ、バルセロナ、ニースなどワールドワイドに飲ませていただいている。

調布のお店に話を戻そう。

調布市内53店の内訳であるが一番多くお邪魔させていただいたのが台北飯店の11回。次いで炉端調風の10回、アメリカンが9回、四季彩調風と海南記が8回、ばせら、えん屋の6回、甲州屋、日高屋、TP、スカフェの5回と続く。一番多い台北飯店は自宅すぐそばであることやJCと歯科医師会両方での利用があることが良く行く理由。アメリカンも同じ理由が多い。炉端調風、四季彩調風は懇親会での利用が多い。日高屋は飲む場所としては意外ではあるが安く済むということでもよく利用する。

調布以外でよく利用するのが登戸の中華料理屋、天福楼。このお店もウーロンハイ150円と激安である。登戸駅すぐ近くにあり料理もおいしいので登戸へお出かけの際は是非。



学生時代は先輩と週に1回は飲むぞとの誓いを立てさせられ、ああこれはしんどいなと思つたものであるが、今振り返るとちゃんちゃらナマつちよろい話である。今では外に出かけない日でも家でも毎日ビール二缶は空けてしまうので、これまでカウントに入れてしまつとほぼ毎日飲んでることになる。

まあ幸いといふかなんというか、酒癖は悪くはないので泥酔しても寝てしまふくらいで、人様にはそれほどお酒でご迷惑をおかけすることはないので、これからもほどほどに飲み、お酒をコミュニケーションの潤滑油としていきたいと思う。



飲みすぎ寝てしまつとG藤F誉に顔に落書きされてしまう。くわばらくわばら

速報褒章獲ったぞー

先日10月24日に行われました

「東京ブロック協議会 さよならブロック」

にて、会員会議所優秀事業賞を獲得いたしました。

対象事業は7月例会で行われました

「まちコン」出会いがまちを変えろ」

です！ひとが輝くまち委員会と実行委員会の皆様

おめでとうございます。鳩山隆史実行委員長にメ

切ギリギリのスケジュールの中、かなり無理を言っ

てコメントを頂きました！

何も出来ない自分を常に支えてくれました副実

行委員長、人が輝く町委員長そして実行委員会の

皆様、本当に感謝してもしきれません！

当日御尽力頂いた両団体のメンバー、予定が合わ

ず来れなかったメンバーも心は共にあった！

その結果、名譽ある!?賞を頂いたのだと思います！

7・23「まちコン」から、早3ヶ月。

改善点等大きな課題は見えてきましたが今は忘れ

て、感謝の念に浸ります。そして皆さん、おめで

とう御座います！

そして何よりも有難う御座います！

青年経済人会議2011まちコン

実行委員長 鳩山隆史



総務青赤通信

2011年度のJ.C.運

動も終盤戦に入ってまい

りました。次年度とクロ

スオーバーする本場に忙

しい時期ですが、椋原の

左足のクロスもオーバー

することが減ってきたな。

でも中に切れ込んでからの右足

でのミドルには「いいね」

を押したくらい痺れたわ。

いつもこんなことばかり考えて

ます。委員長山田です。

さて「俺たちの東京」は力の差

を見せつけJ1昇格は間違いな

い状況です。J2よさらばじゃ!

夏場には夏バテなのか、3試合

勝てない時期もありましたが、

9月10日、1ヶ月ぶりのホー

ム味スタでの対京都戦。大爆発。

帰ってきたルーカスのハットトリックに二人して本気

の男泣き。俺たち感情のスイッチがずれてる、いや優

れてる、恵まれてるんだ。なんて思いながら、6-1の

圧勝。ちなみに椋原のミドルもこの試合。いいね

その後は破竹の7連勝!安定した試合運びで差を見

せ付けましたね。

「もう負けないんじゃないの」などと調子に乗ってい

たら、ここ3試合勝ちなし。ヴェルディとの東京ダー

ビーも引き分け。一年前も「大丈夫、落ちないでしょ」

と楽観視していた自分を思い出す。あまりの学習能力

の無さに改めて気付かされながら、サッカーの楽しさ

を満喫しております。(ちなみに和田副理事長が見に来る



じゃがいもクラブより

第3回じゃがいもクラブゴルフコンペを12月14日に

相武カントリー倶楽部にて開催致します。

本年度最終のじゃがいもコンペとなります。年末で

お忙しいとは思いますが、是非ご参加いただければと

思います。スタッフ一同、皆様方のご参加を心よりお

待ち申し上げます。

日 時 平成23年12月14日 (水)

集合時間 8時45分

9時38分 INスタート(6組)

場 所 『相武カントリー倶楽部』

八王子市大船町620

会 費 … 8,000円

042-771-8211

プレ-費 … 16,500円 (昼食は別精算)

10月7日に開催されま

した第2回じゃがいも

クラブコンペも大変盛

り上がりました。

シニアクラブの先輩方

と現役メンバーが交流

が出来る非常に有意義

な会になっております。

積極的なご参加をお待

ち致しております。



第2回じゃがいもクラブコンペ 武蔵カントリークラブ

あすの調布

2011年度10月号

社団法人調布青年会議所

編集 総務青赤委員会

